



# YELL

メール

第37号

那須教育事務所ふれあい学習課  
〒324-0056 栃木県大田原市中央1-9-9  
Tel:0287(23)2177 FAX:0287(23)2193  
Mail:nasu-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

Vol. 37 平成27年 8月

## 校内研修の充実に向けて

暑中お見舞い申し上げます。  
猛暑が続いておりますが、夏バテはして  
いませんか？どうぞお体を御自愛ください。



さて、今回は地域連携に関する校内研修について考えていきたいと思えます。職員の地域連携に関する理解を深め、意識を高めたいが、どのように研修を進めたらいいのだろうと困っている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。そこで、6月に那須塩原市立埼玉小学校で実施した現職教育の事例を御紹介いたします。

この研修は、地域連携教員である海老澤教諭の「先生方は、地域と連携することはよいことだと分かっているが、実施に至るまでが大変だと感じている先生も多いのでは…」という思いから、ふれあい学習出前講座の依頼を受け、実施したものです。研修には、近隣の小・中学校の地域連携教員、厚崎公民館の小作社会教育指導員、那須塩原市教育委員会生涯学習課の高山社会教育主事も参加しました。

研修の流れは、アイスブレイクから始まり、  
ワーク1「本音で語り合おう！地域連携」と題して、地域連携をやってみて、「苦労したこと」、「失敗したこと」、「こんなことが面倒臭い」、「こうだったら楽なのに…」など、グループで自由に意見を出し合い、全体で意見を共有しまし



### 社会教育主事の紹介

氏名：浅羽 一裕 先生  
勤務先：大田原市教育委員会  
生涯学習課



職名：主査兼指導主事兼社会教育主事

メッセージ：今年度から、大田原市教育委員会生涯学習課に来ました。ところで、みなさん生涯学習課がどこにあるか御存じですか？旧大田原図書館が生涯学習センターとなり、その中に生涯学習課があります。みなさんと一緒に頑張りたいと思います。何か困ったことがあったら、連絡してください。

た。先生方からの意見をまとめると…

・人材の確保 ・打合せ（日程調整、手続き、文書作成等） ・ボランティアさんのスキルや心得 ・ボランティアさんへの配慮 ・教師とボランティアさんとのズレ（ねらい、思い、時間配分…等） ・地域の中にコーディネーターが欲しい ・連携しなくても…（学校だけでできることも多い）などが課題や要望として挙げられました。

次に、それを受けて、講話「それでも、なぜ、地域連携が必要なのか？」というテーマで、地域連携の必要性や効果、県内の地域連携に関する事例（ワーク1で挙げられた課題を解決するヒントになるような）等を紹介しました。

そして、ワーク2「新たな視点で、地域連携できそうなことは？」では、講話を聞いて、新たな気付きや感じたことを基に更なる地域連携の充実に向けて話し合いました。「こんなこと手伝ってもらいたい」「他校の取組を聞いて…」など、気軽な気持ちで意見を出し合いました。様々なアイデアがたくさん出され、先生方が地域と連携することに前向きに話し合いを進めました。

最後に、地域教育コーディネーターの役割を果たすことが期待される厚崎公民館の小作社会教育指導員、那須塩原市の高山社会教育主事より、お話をいただきました。「地域には、学校のために何かしたいと思っている人がたくさんいます。しかし、自分から学校に行くというのはなかなか敷居が高いものです。（公民館職員でも、そう感じます）ですから、ぜひ、学校側から積極的に地域に様々なことを投げかけてください。もちろん公民館も協力します。」と力強い言葉をいただきました。

埼玉小学校では、このような流れで研修を組み立てましたが、各学校の実情に合わせ、研修を組み立てることが出来ます。研修内容で困っている方がいらっしゃいましたら、ぜひ、ふれあい学習課まで御連絡ください。いつでも、喜んで御協力させていただきます。